お知らせ

昭和53年度 保育所入所児募集

昭和53年度油谷町立各保育所の入所児を次のとおり募集いたします。

▶入所できる基準

(1)母親の家庭外労働　(2)母親の家事以外の家庭内労働　(3)母親のいない家庭。(4)母親の出産、病気等　(5)病気の看護等　(6)家庭の災害

▶申込期間

昭和52年12月5日から昭和52年12月15日まで

▶申込手続

町役場住民課福祉係または、両支所か各保育所で申込書に必要事項を記入のうえ、申込みをしてください

▶各保育所の定員

- 菱海保育所　110名
- 蔵小田、久津、大浦、川尻保育所　各60名
- 伊上、立石保育所　各45名
- 津黄保育所　30名

詳しくは、住民課福祉係へお問合わせください。

火災予防の標語募集

秋の火災予防運動の行事の一つとしてみなさんから標語を募集しますので多数ご応募ください。

▶応募方法　官製はがきに住所・氏名・年令（学生は学校名及び学年）・標語（3点以内）を記入

▶送り先　長門市正明市三区　長門地区消防本部

▶締め切り　昭和53年1月14日の消印まで有効

年末・年始のし尿処理及びごみ収集の日程

▶年末　し尿処理（申込期限）　12月20日まで
　　ごみ収集　12月31日まで

▶年始　し尿処理　1月7日から
　　ごみ収集　1月5日から

し尿処理連絡先　TEL 長門(6)―0959

人口と世帯

52年10月末現在住民基本台帳

人口	一一、九一六人	転入	三〇人
男	五、六五二人	転出	二六人
女	六、二六四人	出生	一三人
世帯数	三、二八七世帯	死亡	八人

納税案内

固定資産税 三期
国民健康保険料 四期

納期 一二月二六日

山口県婦人会館内
（TEL山口(二)一一四七）

▼相談方法

郵便か又は電話・来館などで申込みください。返事はご希望によって、面談・手紙・電話などいずれでもいたします。

町有林造林記念碑

この碑は浅井部落集会所の前庭にあり過る一一月一二日に建立された町内で最も新しい石碑である。

浅井部落民は、近年人手不足等で造林施業が非常に困難な折、森林資源造成の重要性を認識し、部落内にある町有林を昭和三一年度から二〇か年をかけて、杉・桧・松等を造林撫育し、部落内町有林六〇町歩の内八六%にあたる五二町歩の造林を完了した。

地元部落では、永年にわたる造林施業の完了を記念して、このたび地元関係者の手により、この石碑を建立したものである。

町内めぐり、いしぶみの旅はこの号をもって一応終了します。いろいろとご協力くださいました方々に厚くお礼申しあげます。

いしぶみの旅 町内めぐり 12

『くらしの学習相談室』のご利用を

家庭生活に関する勉強をしている人や、しょうとしている人で、疑問やいろいろな悩みが出たとき相談に応じ、手助をするために左記により「くらしの学習相談室」が開設されましたので、ご利用ください。

▼相談内容

- 家庭の経済生活
- 子どもの教育
- 家族関係
- 健康管理
- 余暇生活の設計

▼開設期間・時間

昭和五三年三月三一日まで毎日午前九時から午後八時まで

▼開設場所

〒753山口市湯田温泉五丁目

町内文芸

油谷短歌会

文化祭短歌大会詠草

子育てにいたく疲れぬ枕辺に妻の遺骨の柩置きて臥す　岡田　次郎

小刻みに吹く風ありてコスモスの花にまつわる明るさ動く　境　勇

玉葱は竿に赤枯れ秋の日におどるがごとく芽を吹きにけり　天野白水郎

移しゆく今年の米が貯米器に充ちつつせせらぐ如き響きす　油谷志津夫

油谷俳壇

油谷町文化祭俳句大会　席題　嘱目

飾りある車輪をくぐり秋の蝶　蘭　添水

草紅葉一足ごとに靴沈み　岡本　月敲

日々好日雨乞の里収穫終へぬ　松永　對介

尾羽路流るゝ雲の空深む　村上　有弘

陽の沈む刻を構えていか釣りの漁船それぞれの位置を拡せり　町野幸太郎

限りなくまた透明の思惟の中ぬけて尾花に風はま光る　松本　一夫

川柳

娘よりめだつ晴着の七五三　岡崎　伝

豊作も時世時節じや喜こべず　平川　三照